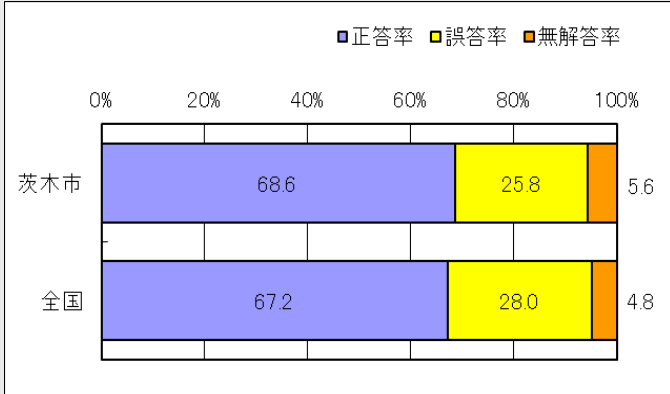


正答率比較

平均正答率は、全国を1.4ポイント上回った

令和5年度 小学校国語 正答率等比較

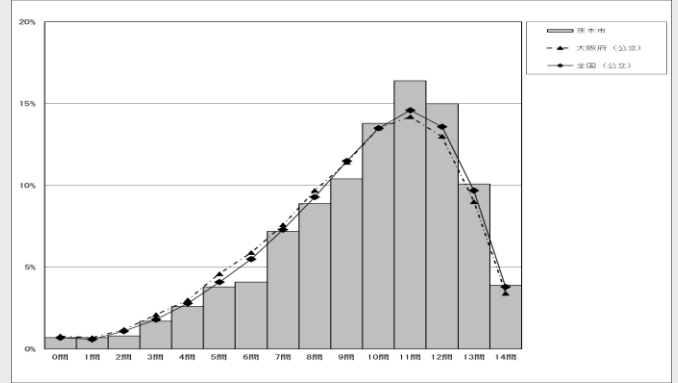


- ◆ 全国の平均正答率が 67.2%であるのに対し、茨木市では 68.6%で、全国を 1.4 ポイント上回った。
- ◆ 誤答率については、全国より 2.2 ポイント低い。
- ◆ 無解答率については、全国より 0.8 ポイント高い。

正答数分布

学力の分布は、正答数の多い側に集中した山型である

令和5年度 小学校国語 正答数分布グラフ

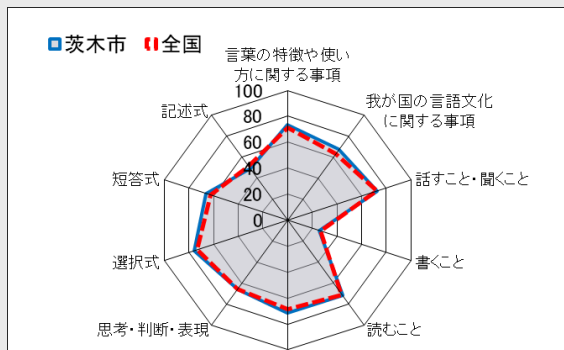


- ◆ 全国、茨木市とも、11 問正解の児童の割合が最も多い。
- ◆ 正答率 40%以下(0~5問正解)の生徒の割合は 10.3%である。(内 20%以下(0~2問正解)の生徒の割合は 2.2%)
- ◆ 正答率 80%以上(12~14 問正解)の生徒の割合は 29.0%である。

領域・観点・問題形式別

「我が国の言語文化に関する事項」「言葉の特徴や使い方に関する事項」で良好である。

令和5年度 小学校国語 レーダーチャート



| 良好な項目 | より改善したい項目 |
|-----------------|-----------|
| 我が国の言語文化に関する事項 | 書くこと |
| 言葉の特徴や使い方に関する事項 | |

- ◆ 「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、平均正答率が全国平均よりも4ポイント程度高く、良好な結果となった。
- 「書くこと」については、全国平均よりも若干低い結果となった。

課題があった設問

○ 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる

1 二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の【川村さんの文章】の [] に学校の米作りの問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、[] に入る内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう (正答率 25.5%)

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り除いた米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下旬に学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、いよいよ雑草が生えてきて、とてもこまらなりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼとくらべてみました。つきさんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量 (kg)

| 項目 | 農家の田んぼの雑草の量 (kg) | 学校の田んぼの雑草の量 (kg) |
|-----|------------------|------------------|
| 1週間 | 2 | 1 |
| 2週間 | 3 | 2 |
| 3週間 | 4 | 3 |
| 4週間 | 5 | 4 |

1週間おきの雑草を測って同じ大きさの100gの入れ、その個数を数える予定です。

このようなことに取り組み、9月の下旬にお米をしょうかくすることができました。

- 〈条件〉
- 学校の米作りの問題点については、【川村さんの文章】のグラフ(農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量)と【カード④】のそれぞれから分かることを書くこと。
 - 問題点の解決方法については、【カード⑤】をもとにして書くこと。
 - 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

【カード④】

7月20日
[農家の石山さんのお話]
・雑草に栄養をとられると、米のしょうかくが減る。
・雑草が多いと、いねが病気になることがある。
・農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。

【カード⑤】

7月21日
[学校でできる解決方法]
・雑草取りの回数を増やす。
・雑草取りの人数を増やす。

正答例 グラフから分かるように、学校の田んぼでは雑草が増え続けていたため、雑草に栄養をとられてしょうかくが減ってしまうかもしれないという問題点がありました。そこで、雑草取りの回数と人数を増やすことにしました。(100字)